

ジャーナリスト

日本ジャーナリスト会議 (JCJ)
〒101-0051 千代田区神田神保町1-18-1 千石屋ビル402号
電話 03-3291-6475 FAX 03-3291-6478
メールアドレス: jcj@tky.3web.ne.jp http://www.jcj.gr.jp
年間購読料3,000円(送料込み) 振替・00190-2-76501



THE JOURNALIST

2015.5.25

国の基本の「大転換」に鈍感なメディア、国会

やり放題、とまらぬ安倍暴走

「戦争体制立法」日々に重苦しく



岸井成格氏

安倍晋三政権の暴走が止まらない。フレイキ役「は非力というより、不在といふべき危機的状況に陥っている。」

「権力は必ず腐敗し、時に暴走する」——これは古今東西の政治権力に共通する教訓だ。これをチェックし、暴走に歯止めをかけ、フレイキ役を果たすが、三権分立の国会、司法であり、メディア、とりわけ、権力を監視すべきジャーナリズムの重要な役割だ。ところが最近では、「一強多弱」「政高党低」と呼ばれる異常な政治の勢力構図の中で、安倍首相の官邸が、情報の独占と操作、人事権を握ってやりた放題の感が強い。「力」が抜き出ている。なぜ、そうなったのかについて、要因の一つといわれる「小選挙区制」導入については稿を改めて、導入にあたって、日本の政治風土の中では必ず「独裁」になると反対を続けた「変人」時代の小泉純一郎元首相の言葉を付記しておく。

それにしては、なぜ、安倍首相はここまで「前のめり」になって、事実上の憲法9条の改正(改悪?)と、やはり事実上の「日米安保条約」の改定に突き進むのか。なかなか本音を見せず、連立のパートナーである公明党との与党協議と、アメリカとの協議を先行させ、国会や国民的議論は後回しにされている。

しかも、与党協議も日米協議も、ほとんど密室協議で、今なおその詳細は明らかにならず、結論だけが示されるといふ異常さだ。さらに安倍首相は、一連の「安保法制」を夏までに成立させること、ともあろうに米国の上下両院合同会議での演説で約束、大見得を切った。

「国会軽視だ」との批判に「常々言ってきたこと、選挙でも必要性を訴えた」「言論の自由だ」と

「辺野古基地止めよう」

県民大会に3万5千人



野球場「沖縄セルラースタジアム那覇」があふれた5月17日の沖縄県民大会

「止めよう辺野古新基地建設」と那覇市の沖縄セルラースタジアム那覇で5月17日、沖縄県民大会が開かれ、県内外から3万5千人が集まった。強い日差しの中、通路やステージ裏の外野側まで開会前から参加者で満員。県内では、会場に來られない人々が、テーマカラーの青色を身につけたり軒先に掲げ、連帯を表明。まさに「島ぐるみ闘争」を感じさせた。東京から参加したある労組

役員は「国際通りで買い物をしてたら、店員から激励された」という。大会では辺野古基金の呼びかけ人、鳥越俊太郎さんや佐藤優さんらも発言。基金が2億円に達したことも報告された。

翁長雄志知事は、「沖縄は自ら基地を提供したことは一度もない」と改めて強調。「首相はどうか日本の国が独立は神話だと聞かないようにしてください」と話した。

大城伸樹

JCJ6月集会

「戦争前夜」に問うメディアの役割と責任



塚本三夫氏

「戦争法」の国会審議の中、メディアはその責任を果たしているか? MICと共同で活動している「憲法メディアア

「あ」ときこうしていれば……」と新聞の反省を書いている。

塚本さんの問題提起を受けて、パネルディスカッションは、「いま、伝えなければならぬこと——メディアの現場から」と題して現場のジャーナリストから、現場の問題と闘いを出し合ってもらった。パネリストは、新崎盛吾・新聞労連委員長(共同通信)、岩崎貞明・民放労連書記次長(メディア総研事務局長、元テレビ朝日)、吉田典裕・出版労連副委員長(教科書対策

を「いつでも、どこへでも派遣」し、米軍などに協力する「日米ガイドライン」と、一連の「安保法制」だ。法制度上は、戦争に参加することが限りなく可能となった。地理的、時間的制約がなくなり、憲法9条や国連安保理決議などの正当性も外されることになった。

簡単に言えば、従来は憲法の制約上、海外派遣は「できません」から始まった話だが、これからは「できます」から交渉がスタートする。

例えば今、最大の焦点であるイラク、シリアにおける「IS」(イスラム国)と、米国の中心の「有志連合」の戦闘に、要請があれば自衛隊を派遣する

「あ」ときこうしていれば……」と新聞の反省を書いている。

塚本さんの問題提起を受けて、パネルディスカッションは、「いま、伝えなければならぬこと——メディアの現場から」と題して現場のジャーナリストから、現場の問題と闘いを出し合ってもらった。パネリストは、新崎盛吾・新聞労連委員長(共同通信)、岩崎貞明・民放労連書記次長(メディア総研事務局長、元テレビ朝日)、吉田典裕・出版労連副委員長(教科書対策



「閣議の正体」江草普二

新たな「戦前」を許さない。そのためにペン・マイク・カメラを！ JCJ60周年

反論。権力というものがわかっていない。開き直りもはばばしい。

安倍首相は第一次内閣以来、一貫して「戦後レジームからの脱却」を悲願とし、党内保守派と在野の右派勢力の支持を得てきた。

その第一が、自民党結党以来の党是とされる「自主憲法制定」であり、第二が「日教組にゆがめられ、権利ばかり教えて自虐史観に支配された教育」改革、そして第三が「平等、対等な日米同盟の構築」——だ。おそろしく首相の胸の内では、この三つの課題は「三位一体」、同時に進めるべきものなのだろう。

それが、一気に自衛隊を「いつでも、どこへでも派遣」し、米軍などに協力する「日米ガイドライン」と、一連の「安保法制」だ。法制度上は、戦争に参加することが限りなく可能となった。地理的、時間的制約がなくなり、憲法9条や国連安保理決議などの正当性も外されることになった。

簡単に言えば、従来は憲法の制約上、海外派遣は「できません」から始まった話だが、これからは「できます」から交渉がスタートする。

例えば今、最大の焦点であるイラク、シリアにおける「IS」(イスラム国)と、米国の中心の「有志連合」の戦闘に、要請があれば自衛隊を派遣する

「特定秘密保護法」の強行採決、武器輸出の解禁、「集団的自衛権」行使の閣議決定、一連の「安保法制」と「日米ガイドライン」——「戦時体制立法」の重苦しさが日々強まっている。

岸井成格(毎日新聞特別編集委員・TBSニュース23アンカー)

部、開隆堂)、コーディネーターはJCJ代表委員の吉原功・明治学院大学(学生無料)。

名誉教授が務める。参加費は、資料代1000円

自民聴取に応じたテレ朝

「報道機関の自殺行為」

秘密法原告団 古賀茂明氏講演

フリーのジャーナリスト 43人が東京地裁に提起した特定秘密保護法違憲訴訟は1年が経過した。6月3日（水）午後2時から103号法廷で開かれる第6回口頭弁論までに運動を盛り上げるため原告団は、4月25日のジャーナリスト安田浩一さんの講演に続き4月27日に元経産省官僚の古賀茂明氏の講演を開催した。

会場の岩波セミナーホールに100人近くが参加。月曜午後だったにもかかわらず、会場が満杯になったのは、古賀人気を物語るものだった。

古賀さんがテレビ朝日「報道ステーション」のコメントーターを降板させられるきっかけは、1月23日の出演で「アイ・アム・ノット・アベ」とコメントしたことだった。後藤健二さんと湯川



報道ステーション降板を語る古賀茂明氏

遥菜さんがISIL（イスラム過激派組織）に拘束され安否が心配されていた頃だ。古賀さんはその真意をこう語った。

「2人が人質になっていられることを分かっていながら、安倍首相は中東外遊に行った。そしてエジプトのカイロで、ISILと闘う周辺各国に2億ドルを支援する」と表明。僕が報ステで「アイ・アム・ノット・アベ」と発言した。古賀さんは、コメント

「相手から武力攻撃を受けたとき」には、昨年閣議決定した、「他国への武力攻撃が発生し、国の存立が脅かされ、国民の生命・財産・幸福追求の権利が根底から覆される明白な危険がある場合」が含まれる。5月12日の中谷防衛大臣の答弁だ。集団的自衛権の行使を認めるための3要件に基づくものだそうだが、政府によればこれも長年培ってきた「専守防衛」に移行するかが注目される。

「報道ステーション」でテレ朝が自民党の事情聴取に応じた点について、古賀さんは「応じなければいいのに。ノコノコ出掛けたら、報道機関として自殺行為と批判した。現在、古賀さんは市民団体「フォーラム4」を立ち上げ、組織づくりに取り組んでいる。二十数年間成長しない日本の仕組みを変えるため「改革はする戦争はしない」を基本理念としている。

来年夏の参院選をにらんだ行動だ。「フォーラム4」が市民団体から新

いま報道に求められる二つのポイント



石坂悦男氏

いま、憲法は満身創痍である。形骸化を免れないところまで来ている。

日米防衛指針（ガイドライン）改定など既成事実を積み重ね、憲法を無視、明文改憲を先取りして戦後70年続いた「戦争をしない国」を「戦争ができる国」へのつくり変えが民意を無視して強引に押し進められている。「台意しやすい項目」からの明文改憲を狙い、「今後さらに大胆なスピード

感をもつて」ことを進めるといふ首相。かつてない異常なメディアへの懐柔とパッシング……。

このような状況の中で明文改憲に先行した壊憲策動の芽を摘み、その一つ一つを切り崩し、改憲阻止につなげていくために、メディアとジャーナリストには何が求められるのか。社会的責任を果たすにはどんな対応が必要か。ここでは3つのポイントを提起したい。

第一に必要なのはメディアの自律を堅持すること。特定秘密保護法の施行は、あらゆる秘密を国民の眼から覆い隠すように運用され、取材・

報道の自由を縛る圧力となつていく。同法の廃止を求め粘り強く取り組みながら、萎縮せず政権（政策）批判の自由を確保し、政府が隠蔽する事実や情報を報道する努力を組織的に持続させることが肝要だ。例えば福島原発の事故の真相と現状、TPP交渉等の「不都合な事実」や日米共同軍事演習の実態など隠された事実の究明がある。

第二に、事柄の本質を抉り出し全体像を分かり易く伝えること。安倍首相の詭弁とも言つべき言論（「まかし」）を論破し正確な意味を伝えなければならぬ。五輪誘致

た。官邸からのパッシングで「報ステ騒動」でテレ朝が自民党の事情聴取に応じた点について、古賀さんは「応じなければいいのに。ノコノコ出掛けたら、報道機関として自殺行為と批判した。現在、古賀さんは市民団体「フォーラム4」を立ち上げ、組織づくりに取り組んでいる。二十数年間成長しない日本の仕組みを変えるため「改革はする戦争はしない」を基本理念としている。

来年夏の参院選をにらんだ行動だ。「フォーラム4」が市民団体から新

「相手から武力攻撃を受けたとき」には、昨年閣議決定した、「他国への武力攻撃が発生し、国の存立が脅かされ、国民の生命・財産・幸福追求の権利が根底から覆される明白な危険がある場合」が含まれる。5月12日の中谷防衛大臣の答弁だ。集団的自衛権の行使を認めるための3要件に基づくものだそうだが、政府によればこれも長年培ってきた「専守防衛」に移行するかが注目される。

形骸化脱すべく自立を 本質えぐる正確な論評

沖縄の現状 封じ込めるな

いま、憲法は満身創痍である。形骸化を免れないところまで来ている。

日米防衛指針（ガイドライン）改定など既成事実を積み重ね、憲法を無視、明文改憲を先取りして戦後70年続いた「戦争をしない国」を「戦争ができる国」へのつくり変えが民意を無視して強引に押し進められている。「台意しやすい項目」からの明文改憲を狙い、「今後さらに大胆なスピード

感をもつて」ことを進めるといふ首相。かつてない異常なメディアへの懐柔とパッシング……。

このような状況の中で明文改憲に先行した壊憲策動の芽を摘み、その一つ一つを切り崩し、改憲阻止につなげていくために、メディアとジャーナリストには何が求められるのか。社会的責任を果たすにはどんな対応が必要か。ここでは3つのポイントを提起したい。

第一に必要なのはメディアの自律を堅持すること。特定秘密保護法の施行は、あらゆる秘密を国民の眼から覆い隠すように運用され、取材・

報道の自由を縛る圧力となつていく。同法の廃止を求め粘り強く取り組みながら、萎縮せず政権（政策）批判の自由を確保し、政府が隠蔽する事実や情報を報道する努力を組織的に持続させることが肝要だ。例えば福島原発の事故の真相と現状、TPP交渉等の「不都合な事実」や日米共同軍事演習の実態など隠された事実の究明がある。

第二に、事柄の本質を抉り出し全体像を分かり易く伝えること。安倍首相の詭弁とも言つべき言論（「まかし」）を論破し正確な意味を伝えなければならぬ。五輪誘致

た。官邸からのパッシングで「報ステ騒動」でテレ朝が自民党の事情聴取に応じた点について、古賀さんは「応じなければいいのに。ノコノコ出掛けたら、報道機関として自殺行為と批判した。現在、古賀さんは市民団体「フォーラム4」を立ち上げ、組織づくりに取り組んでいる。二十数年間成長しない日本の仕組みを変えるため「改革はする戦争はしない」を基本理念としている。

来年夏の参院選をにらんだ行動だ。「フォーラム4」が市民団体から新

「相手から武力攻撃を受けたとき」には、昨年閣議決定した、「他国への武力攻撃が発生し、国の存立が脅かされ、国民の生命・財産・幸福追求の権利が根底から覆される明白な危険がある場合」が含まれる。5月12日の中谷防衛大臣の答弁だ。集団的自衛権の行使を認めるための3要件に基づくものだそうだが、政府によればこれも長年培ってきた「専守防衛」に移行するかが注目される。

来年夏の参院選をにらんだ行動だ。「フォーラム4」が市民団体から新



労働組合主導で経営再建—日本海新聞労組大会で挨拶する高木教典氏（1981年）

東大名誉教授の高木教典（のりつね）さんが5月7日、慢性腎不全で亡くなられた。享年83。

東大新聞研究所の助教時代から新聞労連・民放労連などの研究会の助言者を務められ、お世話になったJCCJ会員も少なくない。JCCJでは60年代後半から70年代にかけてA評議員をされた。ジャーナリストの職能運動について先達た

「相手から武力攻撃を受けたとき」には、昨年閣議決定した、「他国への武力攻撃が発生し、国の存立が脅かされ、国民の生命・財産・幸福追求の権利が根底から覆される明白な危険がある場合」が含まれる。5月12日の中谷防衛大臣の答弁だ。集団的自衛権の行使を認めるための3要件に基づくものだそうだが、政府によればこれも長年培ってきた「専守防衛」に移行するかが注目される。

来年夏の参院選をにらんだ行動だ。「フォーラム4」が市民団体から新

「相手から武力攻撃を受けたとき」には、昨年閣議決定した、「他国への武力攻撃が発生し、国の存立が脅かされ、国民の生命・財産・幸福追求の権利が根底から覆される明白な危険がある場合」が含まれる。5月12日の中谷防衛大臣の答弁だ。集団的自衛権の行使を認めるための3要件に基づくものだそうだが、政府によればこれも長年培ってきた「専守防衛」に移行するかが注目される。

原発差し止め、割れる司法判断(上) 真摯な「明断」と賢しき「黙認」

原発の再稼働を強行する構えの安倍政権と、反対が大勢を占める世論との乖離、ギャップが拡大する中、現行の原子力安全規制の有効性について、全く正反対の決定が、福井、鹿児島2地裁から示され、本来は精緻に収斂すべき司法の判断まで、振れ幅が極限に達した、といえる。

福井地裁は4月14日に、関西電力高浜原発3・4号機の運転を差し止める仮処分を命じ、その8日後に鹿児島地裁は、九州電力川内原発1・2号機の運転差し止めを求める住民の仮処分の申し立て請求を却下した。

2件の審理とともに最大の争点となり、両地裁決定でも主要な判断理由とされたのは、2013年に定められた原発の新規制基準と、原子力規制委員会による安全審査にパスすれば、原発を運転しても、福島第一のような悲惨な過酷事故を回避できるかどうか、である。福井地裁は「非」とし、鹿児島地裁は「是」とした。

決定をきちんと読み比べ、判断乖離の原因を突き詰めて国民に提示すべきジャーナリズムが、役割を十分に果たしているとは言い難い。裁判官への個人攻撃や、根拠のないレッテル貼りの背後から、「粛々と」再稼働に進む安倍政権への慮りが、胡散臭く匂ってくる。

二つの決定文の「決定的な違い」は、4年前に起きて未だに収束の気配すらない福島第一原発事故への眼差しである。大量の放射性物質を広範囲に放出し、4年後の今も、10数万人の平穏で豊かな日常を理不尽に奪い続けている、世界に類例のない隣接原発4基の連続過酷事故。この悲惨な事故に対する、厳密で包括的な理解が、鹿児島地裁の決定には欠落している。

「福島の教訓」という言葉を多用して、福島事故の実態を見つめている立場を強調している。特に、新規制基準や安全審査の評価にかかわる部分では、まるで枕詞のように、「福島の教訓を反映した新規制基準」などと書かれている。

しかし、その福島の教訓の具体的な内容、肝心の中身についてはほとんど言及がなく、検討した形跡もない。規制委員会が権威ある専門家を集めて検討した結果の新規制基準は、相当な合理性を持ち、規制委が福島の教訓を反映したとしているのだから、当然、反映さ

れているに違いない、というのが、鹿児島地裁決定を貴く論理である。この手の「理屈」は、日本の行政訴訟においてごく当たり前の「常識」になっている。行政側の裁量を広範囲に認める「常識」によって、日本の行政訴訟の結末は、先進国の中でも異様な状況になっている。住民側の主張を一部でも認めた司法判断が確定するケースは極めてまれ、1%以下でしかない。

原発訴訟でも、この常識は幅を利かせていて、1998年の伊方原発訴訟・最高裁判決では、策定する手続きに過誤がなければ、規制基準は合理的で、安全審査のプロセスに重大な欠落がない限り、原発の運転は合法

とした。今回の鹿児島地裁の決定は、最高裁の判例にとっても忠実なのだが、連続過酷事故など想像も想定もしていない17年前の判例が、福島事故後も通用するとするのは、かなり無理がある。

実態としては、規制委は新規制基準に福島の教訓をほとんど反映していない。精査した教訓を過不足なく新基準に反映することは、物理的に不可能だったのである。

規制委が発足したのは2012年9月19日で、新規制基準の策定・施行は13年の7月8日である。その間10カ月足らず、再稼働を急ぐ電力業界の求めもあったのだろう。

して、津波による非常用電源の喪失＝全電源の喪失だとする「中間報告」を公表したのは14年10月8日で、新規制基準の施行から1年と3カ月も後のことである。

原因究明の中間点にも至っていない段階で、大急ぎで定めた新基準に、福島事故の具体的な教訓を、どうやって、どれほど反映できたのだろうか。〈続きは6月号に掲載〉塩谷喜雄(科学ジャーナリスト)



安倍政権は、新規制基準に合格すれば、「世界一安全な原発の運転を再開して問題ない」と吹聴している。これは新たな「安全神話」作りが狙い。

新規制基準は事故対応に重点を置き、電力会社が再稼働しやすいように整備しただけ。福井県美浜町でも安全神話に引きずり込まれ、2月の町長選では原発推進の現職候補者が勝利。今では町民の間にも「安全な原発なら仕方ない」というムードが広がっています。

ところで関電原発美浜1・2号機の廃炉が決まったといっても、「廃炉をどう進めるのか」、「使用済み核燃料の処理はどうするか」といったことは何も示されていません。3号機の再稼働について関電も町長も早期再稼働を求めています。またリブレース(同じ敷地内での建て替え)が取りざたされている。むしろ3号機再稼働をそのまま受け入れるわけにはいきません。

そこへ福井地裁から関電高浜原発の運転停止を求めた仮処分訴訟の判決が出て住民側が完全勝利。私たちの「緩い新規制基準は安全を保証しない」という主張を真っ向から受け止めた判決でした。関電大飯原発運転差し止めを命じた福井地裁判決も樋口英明裁判長でした。安倍政権は樋口裁判長を名古屋地裁に異動させたが、名古屋地裁が福井地裁判事職務代行辞令を発したため樋口裁判長が強い意思を示す判決を言い渡すことができた。だが4月下旬の九電川内原発運転差し止めを求める仮処分訴訟では、鹿児島地裁は却下の判決を下した。「上」を向いている裁判官には原発の現状は見えないようです。

私は「単一事象しか想定しない安全審査」に最も注目しています。大地震などが起きたら原発の損傷は1カ所では済みません。にもかかわらず、新規制基準の原発事故対応



松下照幸氏

「収束マニュアル」がないのです。原子力規制委員会はその不備を見て見ぬふりです。美浜3号機は今年で39年を迎えます。再稼働するなら12月までに40年超運転申請を済ませなければならぬ。原子力規制委は躍起になって3号機再稼働を進めています。

しかし1・2号機の廃炉の決定により交付金に代わる支援制度がなければ美浜町は破綻です。それを知らぬ町長は15億円のハコモノ建設を進め、その後、屋根付きゲートボール場(5億円)、廃寺跡展示施設(1.5億円)とハコモノ建設目白押しです。麻薬は自ら絶つことはできない。美浜町は破綻に向かって進んでいます。町が大きく変わるのには、ハコモノ行政の破綻が見えたもう少し先になるのではないのでしょうか。ともあれ美浜町は苦難の道です。

松下照幸(元福井県美浜町町会議員)

応マニユアルは、1カ所しか想定していません。複数破壊事故に対する「収束マニュアル」がないのです。原子力規制委員会はその不備を見て見ぬふりです。美浜3号機は今年で39年を迎えます。再稼働するなら12月までに40年超運転申請を済ませなければならぬ。原子力規制委は躍起になって3号機再稼働を進めています。

リレー時評



J.C.J.代表委員 守屋龍一

5月3日、東京・世田谷区の二子玉川に、家電と本を同じ空間で販売する「葛屋家電」がオープンした。売場面積1階860坪、2階1312坪の大型店舗。さっそく見学に行ってきた。

1階のブックストリートを歩くが、照明が暗く、何か洞窟に入っているような気分になる。在庫冊数は約12万冊、林立する棚に並ぶ本はあつ

葛屋家電と丸山書房——本を扱う姿勢

ても、タイトルは読めず、何がどこにあるのか、さっぱりわからない。

しかも、スターバックスが売場面積を、いやに大きく占める。パソコンやiPhoneのブースがあるかと思えば、自転車やバイクもある。若者たちが、中央の力が馬蹄形に延びて、その

雑誌や本が無料で読めるのだ。粗末に扱い汚しても責任は問われな

2階へ上がると、本の雑誌や本が無料で読めるのだ。粗末に扱い汚しても責任は問われな

母車を動かし、ビールの紙コップを持ち、本を開き、アイパッドを操作する若いカップルもいる。

さて、肝心の本だ。まず文庫・新書・コミックが置いてない。書籍で

は、いかに増田宗昭の著書が数多く並ぶ。店内のコンシェルジュに、目的の本のある場所や在庫を聞くと、ひたすら検索に走る。本紙6面の「書評欄」に掲載した5冊の本は、なんと全てないのだ。呆れる。

その後、筆者の地元にある丸山書房を訪ねた。西武新宿線・久米川駅前

胸に沁みる。

代表の丸山敬生さんは、「これまで武蔵野地

全国的にはビデオレンタルで知られるTS

「家電」売り場なのだ。12万冊の本を先読みした品ぞろえ、気配りのある陳列には、いつも感心する。

「安全神話」作りが狙い。

新規制基準は事故対応に重点を置き、電力会社が再稼働しやすいように整備しただけ。福井県美浜町でも安全神話に引きずり込まれ、2月の町長選では原発推進の現職候補者が勝利。今では町民の間にも「安全な原発なら仕方ない」というムードが広がっています。

同京都地下鉄三田線・新宿線、東京メトロ半蔵門線の神保町駅で下車。徒歩3分の千石屋ビルの4階にある。

新事務所が稼働

日本ジャーナリスト会議(JCJ)の新事務所

後藤健二さんに「人権擁護に尽くした賞」

スペインで、日本のイメージアップに

目に余る報道への権力介入に批判の意味を含めて日本外国特派員協会は、4月に報道の自由推進賞を創設。世界の報道自由デーの5月3日、受賞者を発表した。5部門のうち、ISIL(イスラム国)に殺害されたジャーナリストの後藤健二さんに「殉職した英雄賞」が贈られた。

また、海外でも健二さんの評価は高い。スペインのジャーナリスト約260人が集まる国際記者クラブ(本部マドリッド市)が「紛争地で人権擁護のために尽くした賞」を特別に授け、後藤さんに特別賞を授与した。日本人の受賞は初めて。

同クラブは健二さんの代理として母親の石堂順子さんとその夫の行夫さんが5月5日のマドリッドでの授賞式に招待。石堂夫妻に私も同行し、当日、授賞式に出席した。授賞会場には関係者約200人が集まり、ゲストとして「スペイン最強の女性」の異名をとるサエンス・デ・サンタマリア副首相と、元首相夫人でマドリッド初の女性首長のアナ・ボテジャ市長が招かれた。

同氏の作品は日本の彫刻の森美術館などにも展示されている。記念トロフィーはトルソー(胴体)に2本の羽根ペンが差し込まれたデザイン。これについて、サンティアゴ・デ・サンティアゴ氏は「ものを書くという行為は、心に刻みつけていく」と、参加者から盛大な拍手がわいた。



石堂行夫さん

書くもの。トロフィーの2本の羽根ペンがトルソーに深く差し込まれているのはそのためです」と日本語通訳を介して説明した。

同クラブ副会長で共同通信社スペイン通信員の石橋昌子氏(スペイン在住40数年)は、順子さんからの簡単なメッセージをスペイン語に訳して読み上げた。

「国際記者クラブが息子健二の中東やアフリカでの戦場の子どもの悲劇を正確にとらえ、世界に伝えたことを認めていただき、トロフィーを授与されたことを喜び健二と私は深く感謝しております。連帯感にあふれたスペインの皆様、ありがとうございました」

メッセージを読み終わると、参加者から盛大な拍手がわいた。

「川内原発は再稼働させない」

6月7日、福岡市で3万人集会

「川内原発のスイッチは押させない」をメインスローガンに、最初に再稼働の恐れがある九州電力川内原発の再稼働を認めない「ストップ再稼働」集会を開催する。

6月7日(日)、福岡市中央区の舞鶴公園で開かれる。



6・7チラシ(福岡)

「原発いらない!九州実行委員会」の主催で、東京をはじめ全国で行われる「さようなら原発100万人アクション」の一環。呼び掛け人には内橋克人、大江健三郎、落合恵子、鎌田慧、坂本龍一、澤地久枝、瀬戸内寂聴、鶴見俊輔の各氏が名を連ねる。

当日は午前11時から「オープン・マルシェ」を実施する。午後1時から集会が始まり、九州各県や全国から駆けつけた人々が発言、集会宣言を採択する。続いて同2時半から福岡市内をデモ行進、町ゆく市民らに「川内原発の再稼働反対」を訴える。

連絡先・集会本部は「原発とめよう!九電前ひろば」電話080・6420・6211。

希望者が出店、さまざまな品物が並ぶ。午後零時半からはバンド演奏や歌などのアトラクションがある。午後1時から集会が始まり、九州各県や全国から駆けつけた人々が発言、集会宣言を採択する。続いて同2時半から福岡市内をデモ行進、町ゆく市民らに「川内原発の再稼働反対」を訴える。

連絡先・集会本部は「原発とめよう!九電前ひろば」電話080・6420・6211。

▼報告&討論
渡辺豪(元「沖縄タイムス」記者)
鈴木耕(「マガジン9」代表)

▼日時 6月26日(金) 18時30分

▼場所 岩波セミナーホール(神保町・岩波ブックセンター3F)

▼参加費 500円(会員・学生300円)

「原発いらない!九州実行委員会」の主催で、東京をはじめ全国で行われる「さようなら原発100万人アクション」の一環。呼び掛け人には内橋克人、大江健三郎、落合恵子、鎌田慧、坂本龍一、澤地久枝、瀬戸内寂聴、鶴見俊輔の各氏が名を連ねる。

当日は午前11時から「オープン・マルシェ」を実施する。午後1時から集会が始まり、九州各県や全国から駆けつけた人々が発言、集会宣言を採択する。続いて同2時半から福岡市内をデモ行進、町ゆく市民らに「川内原発の再稼働反対」を訴える。

連絡先・集会本部は「原発とめよう!九電前ひろば」電話080・6420・6211。

希望者が出店、さまざまな品物が並ぶ。午後零時半からはバンド演奏や歌などのアトラクションがある。午後1時から集会が始まり、九州各県や全国から駆けつけた人々が発言、集会宣言を採択する。続いて同2時半から福岡市内をデモ行進、町ゆく市民らに「川内原発の再稼働反対」を訴える。

連絡先・集会本部は「原発とめよう!九電前ひろば」電話080・6420・6211。

もともとスペインは日本びいきの国。健二さんによってスペインでの日本のイメージがさらにアップした。

橋詰雅博(フリージャーナリスト)

20世紀のイギリスを代表する劇作家テレンス・ラティガンが1946年に発表した作品で、演出は鈴木裕美。

舞台は、第1次世界大戦の始まる2年前、ロンドンの高級住宅地ケンジントンにあるウィンズロー家で展開する。

父親のアーサー(小林隆)はすでに銀行を退職したが、5シリングの窃盗を犯したことで退学に処せられたというのだ。しかし本人は「絶対にやっではない!」と言い張る。

もともと銀行員であった父親には、たとえ5シリングであろうと、そんな不正は許されぬ。しかし息子の話を聞くうち、どうやらそれが濡れ衣であると確信した父親は、今度は

息子の名誉のために金に糸目をつけなかった。とは言え、たかが銀行員の退職者に、それほどの資産があるわけではない。

姉キャサリンは弟を信じているが、婚約者になるはずだったジョン・ウエザーストン(川口高志)は、これでは持参金もおぼつかないと逃げ出してしまふ。母親グレイス(竹下景子)は冷静に対処する。

結果、裁判はウィンズロー家の勝利に終わる。一家の名誉は守られたのである。しかし……。

裁判劇ではあるが、裁判の場面はない。判決の結果は、傍聴に行っていた女中のヴァイオレット(渡辺樹里)の報告で伝わるのである。

(4月9〜26日 新国立劇場小劇場にて上演)

安住邦男

西を向く習近平の覇権構想

習近平・中国国家主席は2012年11月、中国共産党トップの総書記に就いて2年半、建国の父毛沢東に匹敵する権威を確立した。「中華民族の偉大な復興」を掲げる習近平は、アメリカとの覇権争いの中でユーラシア大陸の西を志向する戦略を進めている。

人民解放軍を掌握、さらに米国家安全保障会議(NSC)に範を取った中央国家安全委員会を新設してそのトップに座った。

習主席は「虎も蠅も叩く」のスローガンの下、本格的な汚職退治を進め、石油業界と司法界を牛耳ってきた周永康元政治局常務委員(江沢民派)、制服軍人のトップ徐才厚中央軍事委員会

副首相、令計画人民政治協商会議副首相(胡耀邦派)ら超大物を摘発。党最高指導部や聖域の軍幹部ら「巨悪」から党末端にまでメスが入り、2014年中に汚職に憂さを晴らす。

こうした状況下、習主席は「二帯一路」と称する陸と海のシルクロード建設を掲げた。数千キロ以上に華北から西域に通商路を開拓した

「一带一路」と称する陸と海のシルクロード建設を掲げた。数千キロ以上に華北から西域に通商路を開拓した

「一带一路」と称する陸と海のシルクロード建設を掲げた。数千キロ以上に華北から西域に通商路を開拓した

アイナンスするのが、アジアインフラ投資銀行(AIIB)である。

日本と米国はAIIBに参加を呼びかけた中国の招請に応じなかったが、これまで国際金融界で常に米国と組んできた英国が意表をついてAIIBに加わったことは、時代を画する出来事だった。第2次世界大戦まで世界の覇権を握っていた英国が米国に覇権を譲って70年余、東西冷戦に勝った米国の覇権はいよいよ中国に脅かされつつある。

「原発いらない!九州実行委員会」の主催で、東京をはじめ全国で行われる「さようなら原発100万人アクション」の一環。呼び掛け人には内橋克人、大江健三郎、落合恵子、鎌田慧、坂本龍一、澤地久枝、瀬戸内寂聴、鶴見俊輔の各氏が名を連ねる。

当日は午前11時から「オープン・マルシェ」を実施する。午後1時から集会が始まり、九州各県や全国から駆けつけた人々が発言、集会宣言を採択する。続いて同2時半から福岡市内をデモ行進、町ゆく市民らに「川内原発の再稼働反対」を訴える。

連絡先・集会本部は「原発とめよう!九電前ひろば」電話080・6420・6211。

希望者が出店、さまざまな品物が並ぶ。午後零時半からはバンド演奏や歌などのアトラクションがある。午後1時から集会が始まり、九州各県や全国から駆けつけた人々が発言、集会宣言を採択する。続いて同2時半から福岡市内をデモ行進、町ゆく市民らに「川内原発の再稼働反対」を訴える。

連絡先・集会本部は「原発とめよう!九電前ひろば」電話080・6420・6211。

希望者が出店、さまざまな品物が並ぶ。午後零時半からはバンド演奏や歌などのアトラクションがある。午後1時から集会が始まり、九州各県や全国から駆けつけた人々が発言、集会宣言を採択する。続いて同2時半から福岡市内をデモ行進、町ゆく市民らに「川内原発の再稼働反対」を訴える。

連絡先・集会本部は「原発とめよう!九電前ひろば」電話080・6420・6211。



伊藤力司の
ワールド
ウォッチ

人民解放軍を掌握、さらに米国家安全保障会議(NSC)に範を取った中央国家安全委員会を新設してそのトップに座った。

習主席は「虎も蠅も叩く」のスローガンの下、本格的な汚職退治を進め、石油業界と司法界を牛耳ってきた周永康元政治局常務委員(江沢民派)、制服軍人のトップ徐才厚中央軍事委員会

副首相、令計画人民政治協商会議副首相(胡耀邦派)ら超大物を摘発。党最高指導部や聖域の軍幹部ら「巨悪」から党末端にまでメスが入り、2014年中に汚職に憂さを晴らす。

こうした状況下、習主席は「二帯一路」と称する陸と海のシルクロード建設を掲げた。数千キロ以上に華北から西域に通商路を開拓した

「一带一路」と称する陸と海のシルクロード建設を掲げた。数千キロ以上に華北から西域に通商路を開拓した

「一带一路」と称する陸と海のシルクロード建設を掲げた。数千キロ以上に華北から西域に通商路を開拓した

「一带一路」と称する陸と海のシルクロード建設を掲げた。数千キロ以上に華北から西域に通商路を開拓した

アイナンスするのが、アジアインフラ投資銀行(AIIB)である。

日本と米国はAIIBに参加を呼びかけた中国の招請に応じなかったが、これまで国際金融界で常に米国と組んできた英国が意表をついてAIIBに加わったことは、時代を画する出来事だった。第2次世界大戦まで世界の覇権を握っていた英国が米国に覇権を譲って70年余、東西冷戦に勝った米国の覇権はいよいよ中国に脅かされつつある。



撮影 小林隆、左 森川由樹

もともと銀行員であった父親には、たとえ5シリングであろうと、そんな不正は許されぬ。しかし息子の話を聞くうち、どうやらそれが濡れ衣であると確信した父親は、今度は

希望者が出店、さまざまな品物が並ぶ。午後零時半からはバンド演奏や歌などのアトラクションがある。午後1時から集会が始まり、九州各県や全国から駆けつけた人々が発言、集会宣言を採択する。続いて同2時半から福岡市内をデモ行進、町ゆく市民らに「川内原発の再稼働反対」を訴える。

連絡先・集会本部は「原発とめよう!九電前ひろば」電話080・6420・6211。

希望者が出店、さまざまな品物が並ぶ。午後零時半からはバンド演奏や歌などのアトラクションがある。午後1時から集会が始まり、九州各県や全国から駆けつけた人々が発言、集会宣言を採択する。続いて同2時半から福岡市内をデモ行進、町ゆく市民らに「川内原発の再稼働反対」を訴える。

連絡先・集会本部は「原発とめよう!九電前ひろば」電話080・6420・6211。

新国立劇場

『ウィンズロウ・ボーイ』

息子の名誉のために 全財産をはたいた父親

希望者が出店、さまざまな品物が並ぶ。午後零時半からはバンド演奏や歌などのアトラクションがある。午後1時から集会が始まり、九州各県や全国から駆けつけた人々が発言、集会宣言を採択する。続いて同2時半から福岡市内をデモ行進、町ゆく市民らに「川内原発の再稼働反対」を訴える。

連絡先・集会本部は「原発とめよう!九電前ひろば」電話080・6420・6211。

希望者が出店、さまざまな品物が並ぶ。午後零時半からはバンド演奏や歌などのアトラクションがある。午後1時から集会が始まり、九州各県や全国から駆けつけた人々が発言、集会宣言を採択する。続いて同2時半から福岡市内をデモ行進、町ゆく市民らに「川内原発の再稼働反対」を訴える。

連絡先・集会本部は「原発とめよう!九電前ひろば」電話080・6420・6211。

日本電力戦争

資源と権益、原子力をめぐる闘争の系譜

山岡淳一郎

財界が絡み、政治が主導する「脱原発路線」つぶしの内幕



「基本計画」の策定とそれに抵抗する勢力との確執。凡百のドラマを観るよりもスリリングな展開が続く。さらに、経産省を去る官僚の述懐。原発が導入された歴史的経緯、それを主導した人脈。さらにはグローバルズムの中のエネルギー戦略。最後までページを繰る手が止まらなかった。(草思社2300円) 鈴木耕(編集者)

俗に「目から鱗が落ちる」といひけれど、本書はまさにその喩え通りの内容を持つ。中でも第2章「シーエール革命の大渦のなかへ」が面白い。米仏という二大原発大国の思惑と、その巧みな(というより狡猾)買わされる羽目になる。

書評

本・BOOK・ほん

(価格は税別です)

「目から鱗が落ちる」といひけれど、本書はまさにその喩え通りの内容を持つ。中でも第2章「シーエール革命の大渦のなかへ」が面白い。米仏という二大原発大国の思惑と、その巧みな(というより狡猾)買わされる羽目になる。さらにはグローバルズムの中のエネルギー戦略。最後までページを繰る手が止まらなかった。(草思社2300円) 鈴木耕(編集者)

やんばるからの伝言

伊佐真次著・写真森住卓

おーい、本土のみなさん 「高江に来ないか！」



日記のような本だが、高江で起こっていること、闘いの姿がよく見える。テントの中で座って私たちに話しかけてくるような平易な、しかし明快で力強くテンポのいい言葉が素晴らしい。

怒りも悲しみも理不尽さもしんと伝わってくる半面、何度なげ倒されても折れない心の強さが気持ちいい。闘いの中にも豊かな感性を失わない著者の優しさが全編に溢れている。

最初の1頁で沖縄の現実が直球で飛び込んできた。2007年7月から高江の道路際に張ったテントで著者たちが「米軍ヘリパッド建設反対」の座り込みを始めてもう8年。こつこつ書きためた

この道端のテントには全国、いや外国からも様々な支援者が訪れる。森からも自然界の訪問者がいっぱいいて、子供には天国のようなところ。そんな集落のすぐ近くでオスプレイの訓練なんかやられるじゃないか。 本土の私たちにできることは、一人でも多くの人に、この事実を伝えること。 やんばるからの伝言、確かに承りました。(新日本出版社1500円) 川田マリ子

中国新聞取材班編

猪変

野生動物がもたらす被害に人はどう立ち向かえばいいか



負担であり、被害が瀬戸内海の島々にまで及んでいることに驚かされる。イノシシ被害が拡大した要因は、おもに中山間地の人口減による、耕作や手入れ放棄の田畑・山林が増加したことにあるという。本書では行政が取り組んだ対策や研究者の地道な研究成果、さらにフランス、ポランド

中国地方で駆除されるイノシシの頭数は全国のおよそ4割と、際立って多い。里山を抱える内陸部・市町村のイノシシ対策費は7億6500万円近く(本書の記述は2002年新聞連載に基づく)に上る。過疎化した小規模な町村にとっては苛酷な

高度経済成長期とは、日本の野生動物にとって受難の時代であった。繁栄が謳歌される中で、多くの動物種が絶滅の危機に瀕していた。だが高度成長が終わり40年以上を経た今、農林

短歌

現代の窓

評小石雅夫

橋本喜典(まひる野)

子が殺され親が殺され号泣のこぼれこぼる小 さき地球 短歌5月号「悲しむ日」を殺すと

銃口は彼我のいづれも人間に向けられてをり「敵」を殺すと

屈強の男が銃を乱射せりいづれ男も撃たるならむ 同

な忘れそ召集令状一枚に勝たずは死ぬと命しられしを 同

人間の英知が遙か広い宇宙へと向かっている21世紀のいまも地球上では人に人が殺されている。その犠牲の多くが無辜の一般市民・子供である。

一首目は、そのような人間世界の不条理な現実のすべてを捉えきり嘆ききっている。子を殺され親を殺されるといふもつともいたましい悲しみに号泣をする声が、地球上に聞こえわたるようだといふ。その最たるものは戦禍の犠牲者であろう。

二首目は、それぞれの持つ銃口、つまり軍備とそれがお互いに向け合せて保持されているもので、まかり間違えど「敵」として殺し合いをはじめるものであるといっている。まして新基地建設、オスプレイ配備導入等々の軍備増強に戦争をしないという国が何故これほど熱心なのかといふことまでを考えさせられる。

三首目は、頻々として繰り返される無法なテロ攻撃のことを直接には詠っているのだが、作者の意とは離れて、「屈強の男」を「国」に、「乱射」を「侵略」にしてみると別の含意を思わせる。

また、そうした国に「集団的自衛権」で追随しようという政府の姿までがうかんできてる。

四首目は、そんなことで戦争するようなことになり、国を守る義務などを強制されることへの起ったことを決して忘れないで欲しい、という痛切な願いを言っています。

『美味しんぼ「鼻血問題」に答える』 雁屋哲著 (遊幻舎1400円) 本書は、一大バッシングを受けた著者が、2年に及ぶ取材を経て、「いまの福島の問題なら、鼻血が出る人はいる。事実だ」と結論づける。だが、いまだに放射能汚染だとか鼻血だとか、口にするヤツは風評被害を煽り、復興を妨げる邪魔者だ、黙つてろ!と言われるのが、現状だ。放射線被曝による健康被害には、安全基準の「閾値」がない以上、どんなに微量でも有害。今でも福島原発事故による放射性物質は、空中に微粒子として毎日2億

4千万ベクレル、汚染水として毎日80億ベクレル、昨年4月から今年2月までの期間に、7420億ベクレルの放射性セシウムが、海に放出されている。

日本全国の放射線被曝に対する安全基準値は1キログラム当たり100ベクレル、年間1ミリシベルトだ。だが福島に限っては、年間20ミリシベルト、さらに緩和して100ミリシベルトにするのだからひどい。

著者は「このダブルスタンダードの矛盾は許されない。福島の人々よ、どうか声を上げてください」と呼びかける。 萩山拓(ライター)

『伝える技法』

高田昌幸著 (旬報社1500円)

北海道へのキャンプ旅行を800字の作文にするなら、書き始めをどうするか。運動会の騎馬戦体験記では何に焦点を当てるか。身近な例をもとに、読み手をいきなり「現場」へと連れていく作文手法を教える。

著者は北海道新聞の記者時代、「北海道庁の公費乱用」や「北海道警察の裏金問題」報道の取材班で活躍した。現在は高知新聞記者で、若手の原稿を見るデスクをしている。30年近く文章と格闘して得たノウハウを一冊に凝縮した。

作文は冒頭がすべてである。読み手に「へえ」と思われなかつたら負け。ではどうするか。ポイントが一番興味を持つたことの中から、さらに一番の出来事を探す。つまり「一番の一番」を見つけ、その場面・瞬間から書き出す。これらの原則は、読者の心をつかみ、ものごとを間違いなく伝えるジャーナリズム文章論につながる。

悪文の添削も作文力を上げるコツだという。文例に文科省の新学習指導要領・国語教育に関する説明などを取り上げ、徹底的に批評した。著者の機知と反骨精神を感じさせる。

須貝道雄

須貝道雄

須貝道雄

映画の鏡

働くことは希望、生きる証拠 『サンドラの週末』

ダルデンヌ兄弟が描く愛の姿



©Les Films du Fleuve-Archipel 35-Bim Distribution-Eyeworks-KTBF(Télévisions, belgo)-France 2 Cinéma

サンドラは飲食店で働く夫と二人の子供とともに、ソーラーパネル工場に働いている。ある日サンドラは突然解雇を言い渡される。社員たちにボーナスを支給するために、一人解雇する必要があるというのだ。ようやくマイホームを手に入れ、家族を養おうとしていた矢先の解雇。同僚のとりなしで、週明けの月曜日に16人の同僚に

よる投票を行い、過半数がボーナスでなく、サンドラを選べば仕事は続けられることになる。その週末、サンドラは同僚たちを説得して回る。ある者はボーナスがなくても、毎日、西日本田区で開いた中央集会に「約900人(主催者発表)が集まった」として「憲法の岐路/護」が集まった」として、東京都新宿区で、

はサンドラに助けられた事を話して投票する。サンドラは緊張と疲れから大量の薬を飲み、自殺を図る。

運命の月曜日、投票の結果は過半数に一票足り

ず、サンドラの解雇は決まる。社長は「2カ月たてば、契約の切れる二人がいるので、君が復職する可能性はある」と告げるが、サンドラは他人を犠牲にして仕事はできない、と会社を後にする。

このサンドラの後ろ姿がエンディングとなるが、人と人の絆、人間の強さ、すべてが心に訴えかける作品である。

リーマンショック以降の経済危機、現実の厳しさを視野に入れて構想を練ったというダルデンヌ兄弟は、誰もが暮らしの最低線を維持するため汲々としている時代、個性がばらばらに苦悶する世界に「連帯」という理想を投げかけている。

(5月23日) 渋谷Bunkamura ル・シネマで公開 以後全国順次)

金井潤

新聞

「改憲反対」3万人集会、1紙しか報じず

「戦後70年」の今年の憲法記念日に全国各地で開かれた「護憲」「改憲」の各集会の参加者数は、新聞報道で判断すると、「護憲派」のほうが圧倒的に多かったようだ。安倍政権が進める「戦争する国づくり」に危機感を抱いた人が多かったと思われる。日本会議などが主催する「改憲集会」の参加者数は昨年よりも少

なかつたのではないかと。憲法を取り巻く空気が変わったのを感じた。しかし、4日の朝刊では、横浜市で開かれ、主催者発表で3万人が集まった憲法改正反対の中央集会を報じたのは朝日だけだったのはどうしたのか。「改憲派」の読売は、

「新しい憲法をつくる国民会議」の大会(参加者は主催者発表で約450人)にも言及していた。呼び掛け人、大江健三郎さんの発言も載せているが、

「核兵器廃絶を訴える署名活動に取り組み長崎市の大学生の「反戦を訴える」の空撮写真を掲載、集会人にも言及していた。呼び掛け人、大江健三郎さんの発言も載せているが、

加)などが、記事の書き出しが「九州各地で憲法記念日にちなむ集会が開かれた」となっており「自主憲法を」「9条を守り」改憲・護憲各地で集会」と報じた。記事は東京都新宿区と福岡市であった二つの「護憲派集会」に26行、沖縄県那覇市であった「護憲派の講演会」に15行を割いた。「安倍政権の広報紙」らしい扱いだ。

白垣詔男

「改憲派」の読売は、第二社会面の右肩3段見出しで「自主憲法を」「9条を守り」改憲・護憲各地で集会」と報じた。記事は東京都新宿区と福岡市であった二つの「護憲派集会」に26行、沖縄県那覇市であった「護憲派の講演会」に15行を割いた。「安倍政権の広報紙」らしい扱いだ。

月間マスコミ批評

憲法記念日のテレビはさながら英王室のベビー誕生に「電波ジャック」された観があった。

戦後70年の節目、自公政権の解釈改憲による安保法制の審議という切迫した事態にもテレビメディアに緊張感はなく、3日の在京キー局のニュースは揃ってベビー誕生をトップ扱い。

肝心の憲法記念日については、NHK「ニュー

ス7」、TBS「Nスタ」、テレビ朝「報道ステーション・サンデー」などいずれも軽い扱いで、護憲、改憲それぞれの陣営の集会比较で日本の将来を左右

「新しい憲法をつくる国民会議」の大会(参加者は主催者発表で約450人)にも言及していた。呼び掛け人、大江健三郎さんの発言も載せているが、

が感じられなかった。連日の暗い話題に飽きた日本人にとって、英王室の慶事はほっとする話には違いないが、それに比べて日本の将来を左右

「改憲派」の読売は、第二社会面の右肩3段見出しで「自主憲法を」「9条を守り」改憲・護憲各地で集会」と報じた。記事は東京都新宿区と福岡市であった二つの「護憲派集会」に26行、沖縄県那覇市であった「護憲派の講演会」に15行を割いた。「安倍政権の広報紙」らしい扱いだ。

放送

英王室のベビー誕生に電波ジャックされたTV

憲法記念日のテレビはさながら英王室のベビー誕生に「電波ジャック」された観があった。

戦後70年の節目、自公政権の解釈改憲による安保法制の審議という切迫した事態にもテレビメディアに緊張感はなく、3日の在京キー局のニュースは揃ってベビー誕生をトップ扱い。

肝心の憲法記念日については、NHK「ニュー

する憲法の行方が粗略に扱われるメディアは「タガが外れてはいないか。これにひきかえ、番組には力作が目立った。」

①TBS報道特集「歴史

兵士の生涯を描いたNN兵士ドキュメント「9条を金平キャスターがインタビュした番組で、氏が挙げたのは日米に共通する戦争美化の底流だ。今年はアメリカのベトナム戦争50年だが、戦没者の記念碑に刻まれてるのは、米兵の名前だけ。日本の靖国神社にも天皇に命を捧げた「英霊」だけが祀られていると類似点を指摘した。

また、植民地支配を謝罪した村山・小泉談話と天皇発言、さらに慰安婦問題での河野談話など一連の真摯な流れがある一方、こつした流れを否定する一部指導者たちの言動が諸外国の不信を

水上一郎



気象台

「朝日」4月29日付最終報告書を公表した。NHKは取材にあつた大阪放送局報道部の男性記者を停職処分とするほ

「朝日」4月29日付最終報告書を公表した。NHKは取材にあつた大阪放送局報道部の男性記者を停職処分とするほ

「朝日」4月29日付最終報告書を公表した。NHKは取材にあつた大阪放送局報道部の男性記者を停職処分とするほ

「朝日」4月29日付最終報告書を公表した。NHKは取材にあつた大阪放送局報道部の男性記者を停職処分とするほ

「朝日」4月29日付最終報告書を公表した。NHKは取材にあつた大阪放送局報道部の男性記者を停職処分とするほ

「朝日」4月29日付最終報告書を公表した。NHKは取材にあつた大阪放送局報道部の男性記者を停職処分とするほ

「朝日」4月29日付最終報告書を公表した。NHKは取材にあつた大阪放送局報道部の男性記者を停職処分とするほ

「朝日」4月29日付最終報告書を公表した。NHKは取材にあつた大阪放送局報道部の男性記者を停職処分とするほ

憲法守る戦い、今が正念場

5月3日 全国各地でイベント・行動

68回目の憲法記念日を迎えた3日、全国各地では「9条守れ、憲法を活かそう」「ストップ戦争法案」などを掲げ、集会や市民デモなど多彩な行動が終日繰り広げられた。安倍政権への危機感から、どの集会にも多数の参加者があった。

横浜

3万人と発表された参加者は、もっと多かったかもしれない。横浜・みなとみらい地区の臨港パークで開かれた「平和といのちと人権を！」のちと人権を！5・3憲法集会」は、例年、東京の日比谷公会堂と日本教育会館で開かれてきた憲法記念日の集会を統一して、会場を移して開かれたもの。プレコンサートの続々と参加者が集まり始め、横浜ベイブリッジを正面に臨む広い海辺の公園は人々で埋め尽くされた。

集会は雨宮処凛、大江健三郎、澤地久枝、樋口陽一、香山リカ、落合恵



安倍首相の米国議会演説を批判する作家の大江健三郎氏＝5月3日、横浜市・臨港パークで、酒井憲太郎撮影

子の各氏がスピーチ。さらに民主党の長妻昭代表代行、共産党の志位和夫委員長、社民党の吉田忠智党首、生活の党と山本太郎となかまたちの主賓了副代表が挨拶した。続いて「基地・軍隊を許さない行動する女たちの会」の高里鈴代共同代表が辺野古の闘いを報告した。

後半はリレートーク。福島原発訴訟団やNPO法人もやい、シンゲルマザーフォーラムなど各分野から報告があった。集会はヘリコプターからの空撮も交え、多くの市民のメディアが中継した。



札幌市内で開かれた学習会

北海道

北海道では5月3日、札幌市内で「ピー・アンビシヤス9条の会・北海道」が憲法記念日学習会を開いた。「明日の自由を守る若手弁護士会」(通称・あすわか)のメンバーである川上麻里江弁護士が立憲主義と自民党憲法改正草案などについて講演。60人の市民が参加して活発な議論を交わした。

名古屋

川上弁護士は「あすわか」作成の紙芝居「王様を縛る法 憲法のはじまり」を熱演。自分に文句を言う本を焼いたり、悪いことをしていないのに国民を牢屋に入れたりする「悪い王様」を縛り、国民の自由と人権を守るために「憲法」をつくったという物語を聞かせ、立憲主義の重要性を訴えた。

この日は、旭川市内で「集団的自衛権行使容認反対！緊急道北集会」、苫小牧市内で講演会「今からでも遅くない！『我が軍』最高司令官から身を守る方法」、江別市内で憲法施行68年記念講演会、帯広市内では「5月3日にみんなで日本国憲法を読む会」がそれぞれ開かれた。

草案の危険性などについて、詳しく解説した。札幌市内の別会場では、中野晃一上智大学教授が「壊憲の危機 なぜ集団的自衛権なのか」と題して講演。「集団的自衛権の行使は、日本が攻撃されていないのに、他国の戦争に入っていくことだ」と批判した。900人が参加し、集会後は札幌市内をデモ行進した。

大阪

5月3日午前10時から九条の会・おおさかは「海外で戦争する国にするの?! 戦争法制づくりを許さない!」と題し憲法記念日のつどいを開催。会場はいっぱいの参加者で埋め尽くされた。集会では「九条の会・おおさか」事務局次長澤野義一氏(大阪経済法科大学教授、元防衛庁運用局長・

先日の訪米では、国会審議さえしていない段階で、集団的自衛権行使容認の閣議決定に基づく安保法制の整備を米国に約束している。米国議会での首相演説をテレビ中継で見ているが、見るに耐えられず途中でスイッチを切ったと吐露した。こうした最悪の安倍政権を一日も早く退陣させ、憲法の指し示すところに従って平和に貢献できる国をめざしていこうと訴えた。

この後、主催の愛知憲法会議が結成50年を迎えたのを記念して、森英樹・元同会議事務局長や久野田詠弁護士らによるトークがあり、人権無視のブラックバイトに苦しむ若者らの憲法意識などについて話し合った。



会場満杯の大阪の憲法の日の集い

広島

広島では、午前には東区民文化センターで、広島県平和運動センターなどが主催の「輝け9条・活かそう憲法」5・3ヒロシマ集会が開かれた。

この日の締めくくりは「STOP!戦争する国づくり 市民デモ」。秘密法廃止!広島ネットワーカーが主催し、約300人の市民が参加。降りしきる雨の中を中区の原爆ドームから中国電力本店までデモし「集団的自衛権反対」「戦争法案つくりをやめろ」「平和憲法は日本の宝だ」と訴えた。(広島支部 中村敏、沢田正)



広島では集会後にデモ

福岡

福岡市では結成10年を迎えた九条の会福岡県連は、午後には広島市中区の県民文化センターで法律家らでつくる実行委員会主催の2015年広島憲法集会「マイライフ憲法」が開かれ、約700人が集い、力を合わせて平和憲法を守り抜かねばと熱気にあふれた。

原爆ドーム前では第九条の会ヒロシマが「自衛隊が世界中で武力行使をすることの賛否」を問う市民投票を実施。2時間つて投票した結果は、賛成65(9%)、反対56(79%)、わからない86(12%)と反対が圧倒的だった。

この日の締めくくりは「STOP!戦争する国づくり 市民デモ」。秘密法廃止!広島ネットワーカーが主催し、約300人の市民が参加。降りしきる雨の中を中区の原爆ドームから中国電力本店までデモし「集団的自衛権反対」「戦争法案つくりをやめろ」「平和憲法は日本の宝だ」と訴えた。(広島支部 中村敏、沢田正)

最後は、福岡県福津市の津屋崎少年少女合唱団員だった若者が「青い空は」などの平和賛歌を見事なハーモニーで披露した。北九州市小倉区では、木村草太首都大学東京准教授の記念講演があった。

幕開けは九州交響楽団メンバーによる弦楽四重奏。第2部は当初、青木理さんの講演だったが青木さんの希望で、第3部に登場する勝山吉章福岡大学教授が質問をして青木さんが答える一問一答形式に。青木さんは、政府権力に対抗できていないマスコミ・ジャーナリズムの不甲斐なさを話した。

絡会が「戦後70年 止めよう戦争への道」を主眼語に「憲法記念日のつどい」を福岡市民会館で開いた(JCJ福岡支部協賛)。「博多どんたくの日」は雨のジメジメ通り小雨が降り続いたが、約1000人が集まった。この中で、ジャーナリスト・青木理さんの「戦後70年 マスコミを問う」が主題の話には、大きな拍手が贈られた。



青木理氏(左) と勝山吉章氏